



2022年度
第7号

体育市民連帯 ニュースレター

1
シム・ソクヒの
メッセージ公開した
趙ジェボム
名誉毀損で送検



2
北京五輪
17日間の熱戦終えて閉幕
4年後に
また会いましょう



3
大韓体育会、
ショートトラック判定
スポーツ仲裁裁判所
提訴計画を撤回



4
スポーツ人に
そっぽを向かれる
スポーツ倫理センター
人材も調査権も不足

5
ソウル市
体育振興協議会発足
スポーツ福祉都市を作る



大韓民国スポーツの

根本的变化を

皆さんと共に

作って行きたいです

体育市民連帯と共に

していただけますか？



체육市民連帶 2022 年定期總會

こんにちは、會員皆さん！

コロナ 19 フェンデミックは私たちのコミュニケーションと出会いを妨げましたが、大韓民国スポーツの変化のための체육市民連帶の努力は止められません。

反省と省察、未来に向けた準備のため、下記の定期總會を開催します。

多くの方々のご参加をお願いします。

체육市民連帶 2022 年定期總會

日時：2 月 28 日（月）夕方 8 時～9 時

場所：非対面 ZOOM

(<https://cau.zoom.us/j/85731350610>)

- 事業および会計報告
- 監査報告
- 2022 年事業計画
- 役員選出及び執行委認准等

2022 年 2 月

체육市民連帶

01 SBS NEWS 2022.02.17

「シム・ソクヒのメッセージ」公開した趙ジェボム、名誉毀損で送検



シム・ソクヒ選手からのメール内容を流出し、警察の捜査を受けていた趙ジェボム元国家代表コーチが検察に引き渡されました。

京畿南部警察庁女性青少年犯罪捜査隊は 4 日、趙元コーチと趙元コーチの家族を名誉毀損で検察に送検したと発表しました。

警察は昨年 10 月、シム選手の携帯メール流出の経緯を把握するため、チョ容疑者家族の自宅を家宅捜索し、ノートパソコンや USB などを確保しました。

当時、警察は「この事件について告訴・告発が受け付けられたわけではないが、名誉毀損の疑いで独自捜査に着手した」とし「シム選手の携帯メール内容が流出・報道された経緯を把握していたところ、趙元コーチの姉の自宅 IP を特定した」と説明した。

警察の関係者は「詳しい流出経緯などは捜査事案として明らかにすることはできない」と話しています。

昨年 10 月、あるメディアが公開したシム選手の携帯メールには、平昌五輪 1000m 決勝戦での衝突疑惑、同僚の悪口などの内容が含まれ、騒ぎになったことがあります。

しかし、携帯メールの流出者がシム選手に性的暴行を加えた疑いで有罪判決を受けた趙元コーチと知られ、意図的報復であり、「二次加害」という批判も提起されていました。

当時、体育市民連帯は「加害者が被害者を傷つけ、世論を扇動することで、自らの重大な犯罪事実を薄めようとした試みとみられる」と非難した。

スポーツ人権研究所も「趙元コーチが裁判中の性的暴行事件と無関係な被害者の広範囲な私的情報を赤裸々に報道機関に提供することで、加害事実についてもみ消そうとした」とし「明らかな2次加害であり、深刻な名誉毀損」と説明しました。

一方、大韓スケート競技連盟は、同メールの内容をもとにシム選手に対して2ヵ月資格停止懲戒を下し、仮処分申請も棄却され、シム選手の五輪出場は霧散した。

趙コーチはシム選手に対し約3年にわたって性的暴行を加えたなどの容疑で、最高裁判所で懲役13年の刑が確定し、服役中です。

出典：https://news.sbs.co.kr/news/endPage.do?news_id=N1006644496&plink=ORI&cooper=NAVER

02 聯合ニュース 2022. 02. 20

北京五輪：17日間の熱戦終えて閉幕「4年後にまた会いましょう」



第24回北京冬季五輪の17日間の熱戦を後にし、20日の閉会式で幕を閉じる。

4日の開会式前に2日から一部種目の競技が行われたことまで加えれば19日間の「地球村スポーツ大会」だった。

今大会には91カ国、2900人余りの選手が出場し、7種目109個の金メダルをめぐって熱戦を繰り広げた。

サウジアラビア、ハイチなど暑い国から初めて冬季五輪に出場し、出場選手の女子選手の比率は2,892人中1,314人(45.4%)と過去最高を記録した。

大会開幕前と序盤には、試合外の論争が多かった。

新型コロナウイルス感染症（コロナ19）の世界的流行が2年以上続く状況で、コロナ19変異オミクロンまで横行する悪条件で、米国と英国など西側国家では中国内の人権状況を問題視して選手団は派遣するが政府代表団は送らない「外交的ボイコット」を宣言した。

また開会式には韓服を着た女性が出演し、韓国内で中国の「歴史歪曲」に対する反感が起こった。大会序盤、ショートトラックでは韓国選手が被害を被り、中国選手に有利な誤審議論が起きた。

大韓体育会はショートトラック男子1000メートル準決勝で、ファン・デホン（江原道庁）、イ・ジュンソ（韓国体育大学）が被害を受けた判定に対し、国際スポーツ仲裁裁判所（CAS）に提訴する意思を明らかにしたほどだった。

「北京五輪」にちなんで「目を開いていても鼻を切っていく北京五輪」という評価が国内で多くの反響を得たのがまさにこの時だった。（訳注：切る（ペダ）のペを北京のペにかけた、生き馬の目を抜くの意）

しかし韓国選手団は序盤、誤審などの悪材料にもかかわらず、金メダル2個、銀メダル5個、銅メダル2個（14位）で、大会前目標の「金メダル1-2個」と総合15位内入りを果たした。

ファン・デホンとチェ・ミンジョン（城南市庁）がショートトラックで金メダル一つずつ獲得するなど、スケート種目で善戦し、韓国のメダルレースを牽引した。

「鼻切り北京五輪」という悪評も出たが、大会期間には「鼻先をジーンとさせる」感動的な瞬間も多かった。

チェ・ミンジョンはショートトラック女子 1,000 メートルで銀メダルを獲得して泣き崩れた。2018 年に同種目でシム・ソクヒと衝突し転倒した後に「故意の衝突」という議論を呼んで心を苦しめられた。

また金ボルム（江原道庁）はスピードスケート女子マススタートでメダルは取れなかったが、同じく 2018 年平昌大会チームパシュートで起きた「いじめ走行」議論の負担を乗り越えた力走でファンから拍手を受けた。

閉会式は 20 日夜 9 時（韓国時間）、今大会の開会式が行われた中国北京国立競技場で行われる。

約 100 分間行われる予定の閉会式は 2008 年北京夏季五輪開会式・閉会式と今大会開会式の総演出を担当した中国の有名映画監督チャン・イーモウがまた指揮を執った。

チャン・イーモウ監督はこの日の閉会式を「最後に聖火を消す時、2008 年夏季五輪の一瞬が物理的に再現され、まるで時間をさかのぼるような“超越”の感じを与える」と予告した。

開会式で舞台全体を HD LED スクリーンで飾り、多彩な場面を演出したチャン・イーモウ監督は閉会式の際も多様な技術力に基づき「斬新でロマンチックな感じ」を与えると語った。

名残り惜しさを後にして別れる全世界の若者たちは、4 年後の 2026 年イタリア・ミラノ-コルティナダンペッツォ冬季五輪で再び会うことを約束する。

イタリアは 1956 年のコルティナダンペッツォ、06 年のトリノに続き、3 度目の冬季五輪を開催する。

出典：<https://www.yna.co.kr/view/AKR20220220019800007?input=1195m>

03 ハンギョレ 2022. 02. 20

大韓体育会、ショートトラック判定 スポーツ仲裁裁判所提訴計画を撤回



大韓体育会が 2022 北京冬季五輪ショートトラック男子 1000 メートル失格判定に対する国際スポーツ仲裁裁判所（CAS）提訴の計画を撤回した。李ギフン大韓体育会長は 20 日、中国北京メインメディアセンターで開かれた記者会見で、「私たちが当時、国際スポーツ仲裁裁判所に提訴すると言ったが、最終的な結論は提訴しないことにした」と明らかにした。

韓国は 7 日、ショートトラック男子 1000 メートル準決勝で、ファン・デホン（23）=江原道庁=と李ジュンソ（22）=韓国体育大=がそれぞれ組 1 位、2 位で決勝ラインを通過したが、反則の判定を受け失格となった。韓国選手が失格した座は中国選手が代わりに占め、中国ランツウェイが決勝でも判定のおかげで金メダルを首にかけ、偏った判定の疑惑が提起された。

当時、議論が高まると、大韓体育会は競技翌日の 8 日、緊急記者会見を開いて判定に抗議し、この問題を国際スポーツ仲裁裁判所に提訴すると明らかにしていた。

李ギフン会長は提訴中止の理由について、「不公正な判定が取りざたされて以来、国際スケート連盟

（ISU）会長と 5 回ほど会い、トーマス・バッハ国際オリンピック委員会（IOC）委員長とも話を交わした。

国内世論などを伝え、その後、国際スケート連盟もそれなりに努力した部分が見られた」と説明した。

李会長はまた「国内での国際大会開催も控えているため、実益に対する部分も考慮した」とし「韓国選手が被害を受けた競技が決勝ではなく準決勝であるため、訴訟を起こして勝っても韓国が得る利益があまりないと判断した」と明らかにした。

李会長は「われわれが問題提起を十分行い、それに対する効果もある程度は得たと考えたため、選手団や弁護士と相談して訴訟しないことにした」と述べた。

当初、韓国選手団は、緊急記者会見の際、国際スポーツ仲裁裁判所への提訴計画を明らかにしながらも、勝訴の可能性は小さく評価した。国際スポーツ仲裁裁判所は判定に間違いがあっても、審判陣の明白な不法行為がない以上異議を受け入れないからだ。

出典：

<https://www.hani.co.kr/arti/sports/sportstemp/1031767.html><https://www.hani.co.kr/arti/sports/sportstemp/1031767.html>

04 フィナンシャルニュース 2022. 02. 15

スポーツ人にそっぽを向かれるスポーツ倫理センター、人材も調査権も不足

体育関係者の人権保護のために設立されたスポーツ倫理センターが2周年を迎えたが、調査空間、人材、調査権不足で本来の役割を果たせていないという指摘が出ている。

文化体育観光部はこれに対し「予算増額」により問題を解決するという立場だ。専門家らはスポーツ倫理センターの調査権強化を通じた選手保護が急務だと強調した。

■倫理教育対象者 40 万人に担当者 1 人

15 日、市民社会などによると、体育界の人権保護のために発足したスポーツ倫理センターが、本来の役割を果たしていないことが明らかになった。

韓国刑事法務政策研究院が先月発表した「スポーツ界の腐敗実態および関連制度改善研究」によると、腐敗行為を告発した経験がある回答者のうち、スポーツ倫理センターを利用した割合は 10 人に 1 人の 13.0% にとどまった。

文化体育観光部は趙ジェボム・コーチ事件など体育界の不正が相次ぐと、2020 年 8 月に体育関係者の人権保護のため、これまで複数の機関に分散してきた通報チャンネルを一元化した「スポーツ倫理センター」を開設した。しかし調査の結果、スポーツ倫理センターを通じた腐敗行為の申告率は、大韓体育会（25.9%）、所属機関（16.1%）にも及んでいないことが分かった。

被害者保護のためのスポーツ倫理センター内の調査空間、必須の人材などが非常に不足して起きた結果だという指摘が出ている。

スポーツ倫理センター内の組合員は先月 19 日、民主党本部前で記者会見を開き、「被害者支援のための専門人材、相談スペース、予算などがあまりにも不足している状況だ」とし、「国民の涙と怒りで作られたスポーツ倫理センターに本来の設立趣旨は消えて久しい」と批判した。

該当記者会見に参加したスポーツ倫理センターの関係者は「倫理センター内の調査官 19 人が使用する調査室は 1 カ所に過ぎない」とし「加害者と被害者の間の分離が難しいほど空間が狭く、調査官が直接私費をかけて被害者と別途面談を行っている状況」と強調した。

関係者によると、スポーツ倫理センターで体育関係者を対象に行っている倫理教育の受講対象者は40万人に上る一方、センター内の担当実務者は1人とどまっていることが分かった。また、事件の調査のために割り当てられた予算もはるかに不足し、調査官たちが電子署名ツールなど必要な物品を用意できず、困っていたことが明らかになった。

この関係者は「依然として多くの体育界被害者は申告すれば身分が明らかになり、選手生活が終わるといふ恐れを持っている」とし「その不安を払拭できるよう、倫理センターが被害者に信頼を与えなければならないのに、人材、予算、空間などすべてが不足しているため、もどかしい」と話した。

■調査権の強化と体育界の認識改善

これに対して文体部は予算増額を通じて問題を解決するという立場だ。文体部の関係者は「前年比予算が8億7300万ウォン増額編成された」とし「倫理センター内の人材・空間不足問題を改善していく予定」と明らかにした。

専門家らは予算増額とともに、スポーツ倫理センターに与えられた調査権の強化を通じて、スポーツ関係者の保護に乗り出すべきだと強調した。体育市民連帯のホ・ジョンフン代表は「現在スポーツ倫理センターが持っている調査権には強制力がない」とし「加害者などが調査に応じない場合、それに見合う措置を取るのが難しい」と指摘した。ホ代表は「特別司法警察制度などを導入し、センターが持つ調査権限が強化されなければならない」とし「予算拡充を通して専門性のある調査官確保も必要だ」と主張した。

スポーツ倫理センターの関係者も「調査に強制力がなく、現在は加害者が調査に応じない場合、応じるまで説得するか、第三者に会って事件の真相を把握している」とし「加害者はその間、被害者を探し出して訓練で排斥したり逆告訴をするなど、2次被害が加重されている」と調査権強化の必要性を強調した。

また、体育関係者の人権保護のためには、全般的な認識改善が必要だという主張も提起された。ジョン・ヨン Chol 西江大教育大学院教授は「倫理センター設立だけでスポーツ不正が一度に消えるわけではないため、機関がきちんと定着し作動できるよう政府が環境を整えなければならない」とし「依然として体育界では'メダルが取れなかったらおしまい'という認識が広まっているので、こうした独自の文化が変化することが先行されなければならない」と指摘した。

出典：<https://www.fnnews.com/news/202202151813360738>

05 国民日報 2022.02.18

ソウル市、体育振興協議会発足…スポーツ福祉都市を作る



ソウル市民のスポーツ活動振興と体育政策の発展のための「ソウル市体育振興協議会」が公式に発足したと18日、明らかにした。

市は前日、「ソウル市体育振興協議会」の第1回会議を開催した。初の会議では、オ・セフンソウル市長の委嘱状授与と今年ソウル市が樹立した体育分野の主要業務計画などの案件論議などが行われた。

「ソウル市体育振興協議会」は昨年、国民体育振興法の改正及びソウル市体育振興条例の制定に伴い、ソウル市体育振興計画の樹立など体育分野における重要事項を協議するた

めに構成された。スポーツ団体・学界・専門家など計13人(任期2年、1回再任可能)が参加し、ソウル市長が当然職委員長を務める。

「ソウル市体育振興協議会」は今後、ソウル市体育振興計画の樹立、国際体育交流、体育福祉及び人権など、ソウル市体育振興に関する重要事項に関する協議や諮問活動を行う。年2回定期会議を開き、主要体育分野の懸案がある場合は随時会議を開く。

オ・セフンソウル市長は挨拶で「ソウル市体育振興協議会を通じて体育団体と学界・専門家の様々な意見を傾聴し、これをソウル市体育政策に積極的に反映してコロナ19で疲れた市民たちがスポーツを通じて活力を取り戻し、健康な日常に速やかに回復できるよう努力する」と述べた。

出典：<http://news.kmib.co.kr/article/view.asp?arcid=0016785411&code=61122011&cp=nv>

06 週間スポーツ関連ニュース

スポーツ産業予備就業・創業者対象の「ジョブフェア」を17～19日に開催

<https://www.yna.co.kr/view/AKR20220216088100007?input=1195m>

全羅北道、国立スポーツ総合訓練院設立へ

https://newsis.com/view/?id=NISX20220220_0001765607&cID=10808&pID=10800

金泉市、第2スポーツタウン来年3月着工

<http://www.kyongbuk.co.kr/news/articleView.html?idxno=2094680>

ユ・スンミン IOC 選手委員「スポーツ外交力を育てるには新選手委員を前もって準備を」

<https://www.joongang.co.kr/article/25049710>

李ギフン大韓体育会長「すでに北朝鮮に2024年冬季ユースオリンピック分散開催を提案」

https://newsis.com/view/?id=NISX20220220_0001765692&cID=10511&pID=10500

「自分一人が納めた金だけで2000万ウォン」…監督の不正暴露を黙殺した釜山体育会

<https://www.joongang.co.kr/article/25048710>

釜山市体育会バレーボールチーム、元監督を検察送検

<http://www.busan.com/view/busan/view.php?code=2022021521272238128>

天安市体育会職員「職場内集団いじめ」被害で労災認定

<https://www.yna.co.kr/view/AKR20220214022400063?input=1195m>

体育市民連帯オンライン 定期後援案内

万人が楽しむスポーツ世界、体育市民連帯が共に作ります。
私達連帯の活動に積極的に賛同していただくことを願います。

私たち体育市民連帯は体育人の権益保護と
福祉実現のために努力しています。
皆さんの小さな心づかいがより良い世界のための
体育市民連帯活動に強固な土台となります。
体育市民連帯会員として力になろうと
される方は下の口座に後援をお願いします。

国民銀行 086601-04-095940

口座名義：体育市民連帯

オンライン定期後援は下のリンクを通じてホームページからできます。

多くの関心をお願いします。

INFOMATION

体育市民連帯 ソウル市 瑞草区 瑞草洞 孝寧路 230 スンジョンビル 407 号

Tel : 02-2279-8999、E-mail : sports-cm@hanmail.net ホームページ : <http://www.sportscm.org/>

日本語訳：佐藤好行 新日本スポーツ連盟 国際活動局 韓国担当 jr1fep@gmail.com

週刊ニュースレターバックナンバー（資料室） <http://www.yg.jpn.org/sportscm/index.html>